

【担当教員名】 相馬俊雄, 佐藤成登志, 非常勤	対象学年	3	対象学科	理学
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	2	時間数	30

【概要】

運動器疾患に対する理学療法を実施するために、四肢・体幹の関節障害の病態・回復過程・治療手技（手段）について修得する。

【学習目標】

1. 理学療法の治療手段の種類を列挙することができる。
2. 病態の回復過程を予測することができる。
3. 障害と治療手段を関係付けることができる。
4. 適切な治療方法を選択することができる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	学習方法	担当教員
1	授業概要・総論	1, 2, 3, 4	講義	相馬
2	運動器疾患の治療学, 運動療法	1, 2, 3, 4	講義	相馬
3	股関節疾患の治療学	1, 2, 3, 4	講義	相馬
4	股関節疾患の治療学	1, 2, 3, 4	講義	相馬
5	膝関節疾患の治療学	1, 2, 3, 4	講義	相馬
6	膝関節疾患の治療学	1, 2, 3, 4	講義	相馬
7	足関節疾患の治療学	1, 2, 3, 4	講義	相馬
8	肩関節疾患の治療学	1, 2, 3, 4	講義	相馬
9	動作分析・歩行分析	1, 2, 3, 4	講義	相馬
10	動作分析・歩行分析	1, 2, 3, 4	講義	相馬
11	体幹（脊椎）疾患の治療学	1, 2, 3, 4	講義	佐藤
12	体幹（脊椎）疾患の治療学	1, 2, 3, 4	講義	佐藤
13	脊髄損傷の治療学	1, 2, 3, 4	講義	非常勤
14	関節リウマチの治療学	1, 2, 3, 4	講義	非常勤

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書				
参考書	細田多穂, 他・編集	理学療法ハンドブック第3版, 第3巻	協同医学出版	2000年 8000円
その他の資料				

【評価方法】 定期試験, その他	【履修上の留意点】 実習できる服装で授業に臨むこと。
---------------------	-------------------------------